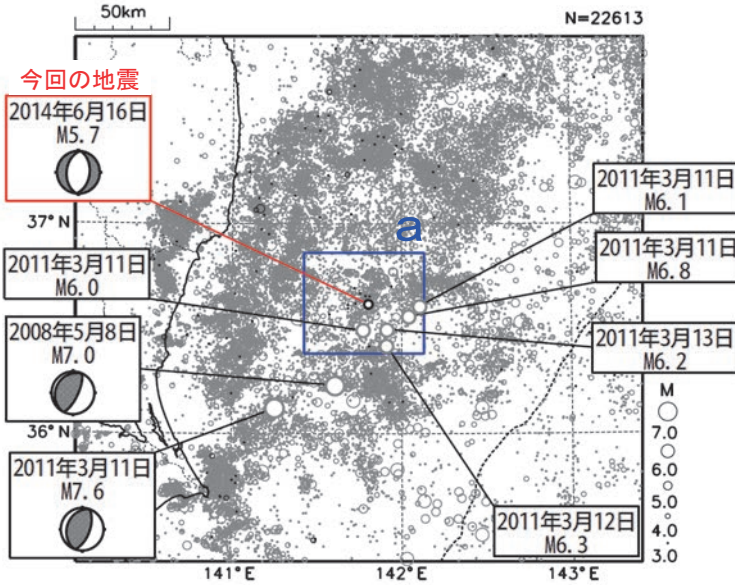


6 月 16 日 茨城県沖の地震

震央分布図
 (1997 年 10 月 1 日～2014 年 6 月 30 日、
 深さ 0～100km、 $M \geq 3.0$)
 2014 年 6 月の地震を濃く表示
 図中の発震機構は CMT 解

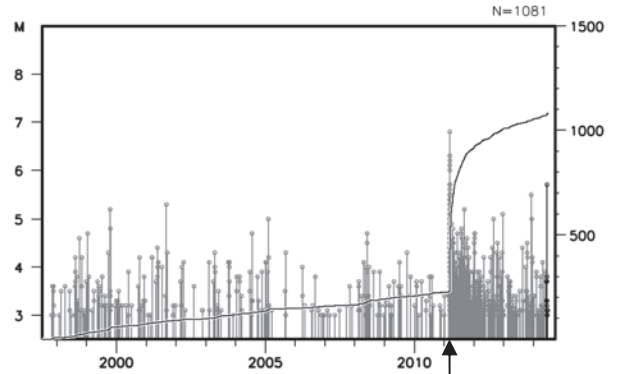


2014 年 6 月 16 日 03 時 19 分に茨城県沖で M5.7 の地震 (最大震度 3) が発生した。この地震の発震機構 (CMT 解) は、東西方向に張力軸を持つ正断層型である。

1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近 (領域 a) では、M5.0 程度の地震が時々発生していたが、「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」の発生以降、活動が活発になり、2011 年 3 月 11 日には M6.8 の地震 (最大震度 4) が発生している。

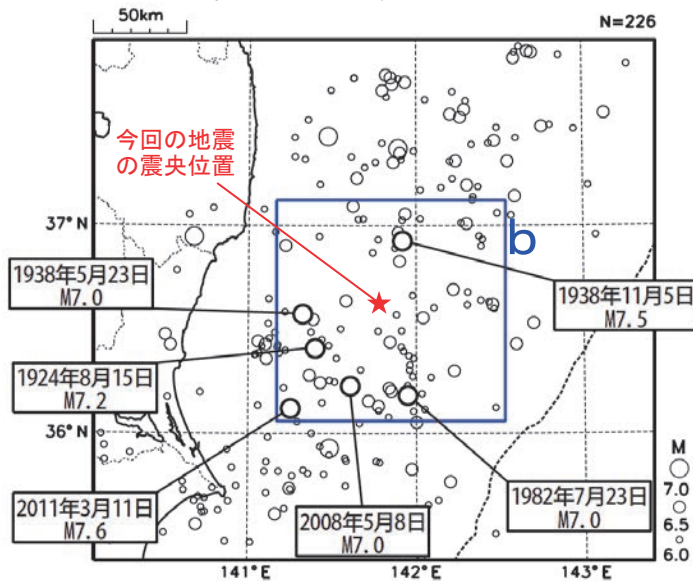
1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域 b) では、M7.0 以上の地震が時々発生している。2011 年 3 月 11 日には M7.6 の地震 (最大震度 6 強、東北地方太平洋沖地震の最大余震) が発生している。

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



東北地方太平洋沖地震発生

震央分布図
 (1923 年 1 月 1 日～2014 年 6 月 30 日、
 深さ 0～100km、 $M \geq 6.0$)



領域 b 内の M-T 図及び回数積算図

